

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年2月24日（水）

2 確認箇所

Bタンクエリア

3 確認項目

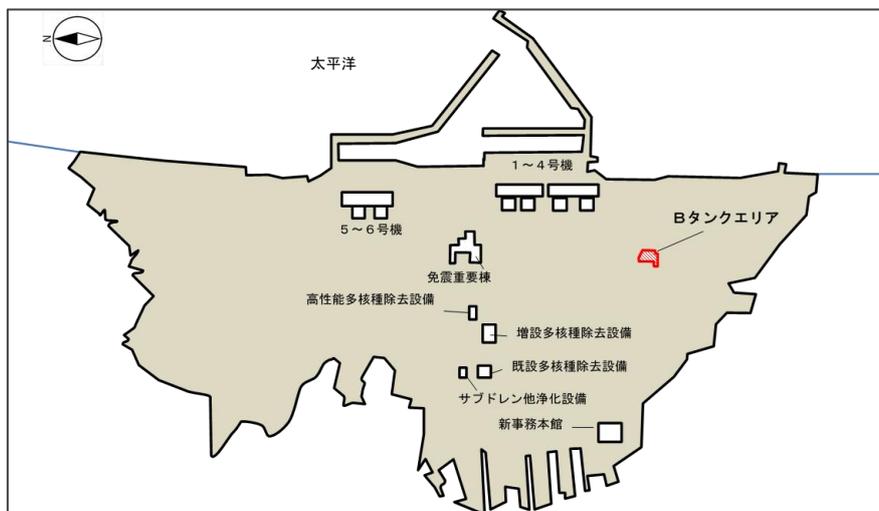
Bタンクエリアに設置されているタンクの位置ずれの状況

4 確認結果の概要

令和3年2月13日に発生した福島県沖を震源とする地震（立地町震度6弱）により、一部のタンクに位置ずれが発生したことの報告が東京電力よりあったことから、Bタンクエリアに設置されているタンク※の状況を確認した。（図1、写真1）

- ・当該タンクエリアには、タンク容量が700m³の溶接型タンクが27基、1,330m³の溶接型タンクが10基設置されており、多核種除去設備で処理された水が保管されているが、複数のタンクで数センチメートル程度の位置ずれが確認された。（写真2）
- ・内堰内には雨水が滞留していたものの、目視確認した範囲においてはタンク及び配管からの内包水の漏れは確認されなかった。（写真3）
- ・東京電力によると、今後、タンク間に設置されている連結管の変位量の調査を実施する予定とのことである。

※ 当該タンクなど比較的大型のタンクについては、耐震性確保の観点から、基礎に固定せず、平置きして一定以上の力が加わった際に動くことにより転倒や損傷を防ぐように設計されている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
Bタンクエリア外観
(北東側から撮影)



(写真2-1)
タンクの位置ずれの一例①
(矢印がタンクの位置ずれ方向と
ずれ幅)



(写真2-2)
タンクの位置ずれの一例②



(写真3-1)
タンク入口配管の状況の一例



(写真3-2)

タンク間の連結配管の一例

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、前回確認時に比べ、大きな変動は見られなかった。